

県と市町村との連携まちづくり(奈良モデル)への支援

平成29年11月

【担当省庁】国土交通省

国にお願いすること

県と市町村との「**まちづくり連携協定**」に位置づけた、**まちの拠点エリア**における**社会資本整備総合交付金対象事業への重点配分**

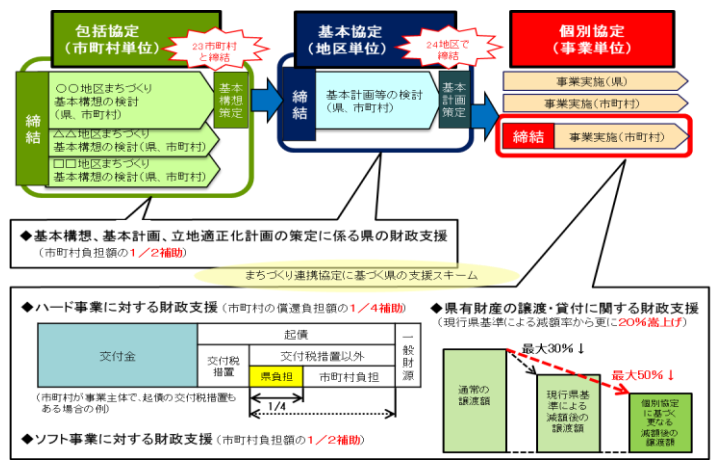
奈良県における取組

■「県と市町村とのまちづくりに関する連携協定」による取組(奈良モデル)

- ・小規模で財政基盤の弱い市町村が多く、単独では積極的なまちづくり展開が困難
 - ・県は市町村と「まちづくり連携協定」を締結し、鉄道駅などのまちの拠点を対象エリアとして定め、構想策定段階から技術的・財政的支援を実施し、まちづくりを強力に推進
- 県と市町村が、協定を締結し、協働でまちづくり事業を実施
 - ・鉄道駅などの拠点機能の充実
 - ・空き家・空き店舗の活用
 - ・まち中ファシリティーマネジメントの推進(公共施設・公的不動産等の再配置・集約化・利活用)
 - ・にぎわいづくり事業やイベント等の実施
 - これまでに、23市町村と包括協定を締結、8市2町1村24地区で基本協定を締結。

<連携協定の進め方と支援スキーム>

プロジェクトの進捗にあわせ、段階的に協定を締結し、市町村を支援

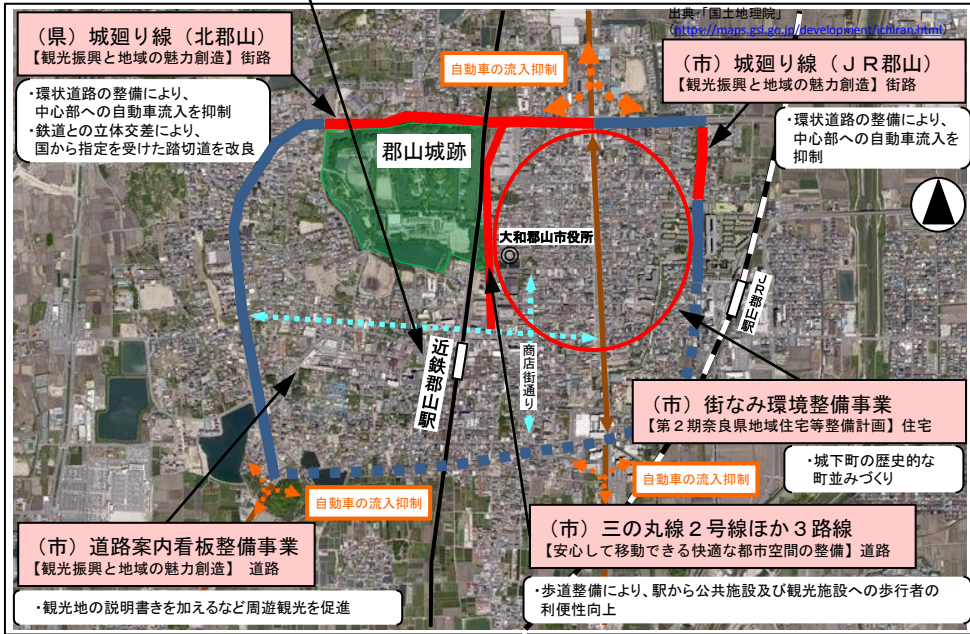
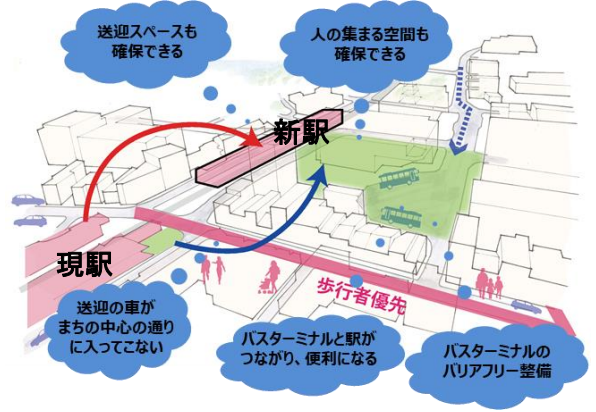


<大和郡山市 近鉄郡山駅周辺地区>

歩いて暮らせる安心安全で快適な生活環境の実現

・地区内への自動車の流入抑制、駅の北側移設による駅前ロータリーとの一体化、市役所をはじめとする周辺の公共施設等の再整備など、ダイナミックに駅前をリニューアル。また、城下町の資源を活用した地域の活性化を目指す。

近鉄郡山駅の北側移設(イメージ)



【県担当部局】まちづくり推進局地域デザイン推進課